

本当に楽しかった「春の遠足」。今回は年長組の様子をお伝えします。



5月11日(金)、快晴の天気の中で「春の遠足」を実施しました。年長組は、園バスを利用して、壬生町にある「とちぎわんぱく公園」に行きました。

8時30分に園を出発し、9時20分ごろ公園に到着しました。トイレをすました後、2人1組手をつないで並び、「こどもの城」に行きました。

城の中に入ると、「恐竜のももちゃん」が歓迎してくれました。荷物を置くと、さっそくいろいろな遊具に向かって走り始める園児たち。色鮮やかなボールのプールに飛び込む子、ロープを使っでの「浮き島渡り」にチャレンジする子、追いかっこをして「すべり台」から勢いよくすべり落ちてくる子。30分の間、笑顔いっぱい遊び回っていました。しかし、中には「浮き島渡り」に失敗して池に落ち、足を濡らしてしまう子もいました。

その後、時間になったので「虹の広場」に戻りクラスごとに記念撮影をしました。

そして、いよいよメインイベント「みどりの丘」へ出発しました。途中には色とりどりに咲き誇っている花が植えられた花壇や数多くの鯉が音を立てながら泳ぐ川などがあり、子どもたちを喜ばします。

ひろびろとした芝生や花畑がある「みどりの丘」に着き、木立の日陰にシートを敷いて荷物を置きました。いよいよ「たぬきの迷路」にチャレンジです。分岐点になると、先生が「どちらに行く?」と子どもたちに聞きます。「こっちだ」と指さし走り出す子も。でも行き止まりで戻って来ることが多かったようです。どきどきしながらなんとか「迷路」を抜け出すと、目の前には

「オール木造のアスレチック」が現れました。すぐに、ネットを伝わり「やぐら」の上へのぼり、スリル満点の「大きなすべり台」を大声を出しながら滑り落ちる子、ターザンロープにチャレンジする子などさまざまです。30分程度ですが、本当に楽しそうに遊んでいました。

11時30分、いよいよお弁当の時間です。お母さんの愛情が詰まったお弁当をおいしく食べました。木陰の中、さわやかな風が吹き、本当に気持ちよさそうでした。

お昼を食べた後は、「鯉のぼりがたくさん泳いでいる広場」に移動して20分程度遊びました。グループで写真を撮ったりした後、園バスが待つ駐車場に行き、バスに揺られ帰ってきました。バスの中では、みんなでたくさん歌を歌ったりゲームをしたりして、楽しく過ごすことができました。

【写真】……(上)りんごの並木を横目にきちんと並んで。(2番目)正門の「森の精」の声にビックリ!! (3番目)「こどもの城」の中、浮き島渡りでハラハラドキドキ! (4番目からは)「緑の丘」にあるアスレチックで遊ぶ園児たち。「すべり台」や「ターザンロープ」は大人気でした。

